

24. 前田サオリ, 宮城京子, 石川章子, 田里大輔, 仲村秀太, 健山正男, 藤田次郎, 仲里愛, 富永大介, 諸見牧子, 新江裕貴, 石郷岡美穂, 大城市子: 食道癌のため嚥下困難となり認知能低下した患者の看護—患者のニーズに寄り添った看護—, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2011
25. ○塩野徳史, 新ヶ江章友, 金子典代, 市川誠一, 山本政弘, 健山正男, 内海眞, 生島嗣, 鬼塚哲郎: ゲイ向け商業施設利用者対象の質問紙調査による地域別予防啓発事業の評価に関する研究, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2011
26. 西島健, 高野操, 石坂美千代, 瀧永博之, 菊池嘉, 遠藤知之, 堀場昌英, 金田暁, 藤井毅, 内藤俊夫, 吉田正樹, 立川夏夫, 横幕能行, 藤井輝久, 高田清式, 山本政弘, 松下修三, 健山正男, 田邊嘉也, 満屋裕明, 岡慎一: HIV 感染症の初回治療でアタザナビル/リトナビルを固定しエプジコムとツルバダを無作為割付するオープンラベル多施設臨床試験: ET study, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2011
27. 仲里愛, 富永大介, 田里大輔, 宮城京子, 前田サオリ, 仲村秀太, 原永修作, 比嘉太, 健山正男, 藤田次郎: HIV 関連神経認知障害 (HAND) の神経心理学的評価, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2011
28. 田里大輔, 健山正男, 仲里愛, 宮城京子, 前田サオリ, 仲村秀太, 原永修作, 比嘉太, 富永大介, 藤田次郎: 神経心理学的検査にて早期 HIV 関連神経認知障害 (HAND) を捉える事ができた急性 HIV 感染症の 2 例, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2011
29. 菊池嘉, 遠藤知之, 宮城島拓人, 伊藤俊広, 中村仁美, 田邊嘉也, 上田幹夫, 横幕能行, 渡邊大, 藤井輝久, 南留美, 健山正男: 多施設共同免疫学調査における HAART の有効率 2010, 第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2011

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
無し
2. 実用新案登録
無し

表1. 沖縄地域のMSMを対象者とした受検者の特性（基本属性）

	CBO活動・資料の認知				合計 n=109	χ ² 検定 によるp値	
	見ていない n=51		見た n=58				
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？							
再受検	34	66.7%	40	69.0%	74	67.9%	0.80
初受検	17	33.3%	18	31.0%	35	32.1%	
無回答							
年齢							
24歳以下	13	25.5%	16	27.6%	29	26.6%	0.14
25-34歳	20	39.2%	18	31.0%	38	34.9%	
35-44歳	11	21.6%	22	37.9%	33	30.3%	
45歳以上	5	9.8%	2	3.4%	7	6.4%	
無回答	2	3.9%	0	0.0%	2	1.8%	
居住形態							
はい(1人暮らし)	12	23.5%	18	31.0%	30	27.5%	0.40
いいえ	38	74.5%	40	69.0%	78	71.6%	
無回答	1	2.0%	0	0.0%	1	0.9%	
婚姻状況							
結婚している	3	5.9%	2	3.4%	5	4.6%	0.83
結婚していない	47	92.2%	55	94.8%	102	93.6%	
無回答	1	2.0%	1	1.7%	2	1.8%	
健康保険加入状況							
国民健康保険/職場の健康保険	39	76.5%	47	81.0%	86	78.9%	0.68
被扶養者の健康保険（家族・親族等の扶養）	6	11.8%	7	12.1%	13	11.9%	
未加入*1	6	11.8%	4	6.9%	10	9.2%	

表2. 沖縄地域のMSMを対象者とした受検者の特性（相談・情報・アクセス度）

	CBO活動・資料の認知				合計 n=109	χ ² 検定 によるp値	
	見ていない n=51		見た n=58				
HIV/STIや検査に関する知識正答*1							
ウィンドウピリオドについて	50	98.0%	54	93.1%	104	95.4%	0.22
偽陽性の可能性について	27	52.9%	32	55.2%	59	54.1%	0.82
偽陽性の場合、再検査の必要性がある	28	54.9%	41	70.7%	69	63.3%	0.16
重複感染について	33	64.7%	43	74.1%	76	69.7%	0.37
服薬治療について	45	88.2%	48	82.8%	93	85.3%	0.42
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに自分の家族に相談できると思いますか？							
できない/できないと思う	31	60.8%	45	77.6%	76	69.7%	0.15
わからない	8	15.7%	6	10.3%	14	12.8%	
できる/できると思う	12	23.5%	7	12.1%	19	17.4%	
無回答							
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに身近な友達に相談できると思いますか？							
できない/できないと思う	25	49.0%	20	34.5%	45	41.3%	0.31
わからない	4	7.8%	6	10.3%	10	9.2%	
できる/できると思う	22	43.1%	32	55.2%	54	49.5%	
無回答							
HIVや性感染症について、相談できる場所(電話相談など)を知っていますか？							
知らない	27	52.9%	23	39.7%	50	45.9%	0.19
知っている	23	45.1%	35	60.3%	58	53.2%	
無回答	1	2.0%	0	0.0%	1	0.9%	

表3. 沖縄地域のMSMを対象者とした受検者の特性（セーフセックス状況）

	CBO活動・資料の認知				合計 n=109	χ ² 検定 によるp値	
	見ていない n=51		見た n=58				
特定(恋人や夫など)の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							
常用	8	22.9%	9	19.1%	17	20.7%	0.68
非常用	27	77.1%	38	80.9%	65	79.3%	
特定以外の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							
常用	7	23.3%	11	25.6%	18	24.7%	0.83
非常用	23	76.7%	32	74.4%	55	75.3%	
特定(恋人や妻など)の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							
常用	6	28.6%	7	77.8%	13	43.3%	0.01
非常用	15	71.4%	2	22.2%	17	56.7%	
特定以外の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							
常用	6	35.3%	6	66.7%	12	46.2%	0.13
非常用	11	64.7%	3	33.3%	14	53.8%	

表4. 沖縄地域のMSMを対象者とした受検者の特性（その他）

	CBO活動・資料の認知				合計 n=109	χ ² 検定 によるp値	
	見ていない n=51		見た n=58				
過去6ヶ月間に“HIVに感染しているかも...”と不安に感じたことはありましたか？							
まったくなかった/あまりなかった	26	51.0%	28	48.3%	54	49.5%	0.52
よくあった/時々あった	24	47.1%	30	51.7%	54	49.5%	
無回答	1	2.0%	0	0.0%	1	0.9%	
あなたはこれまでに性感染症にかかったことはありますか？							
ない	46	90.2%	49	84.5%	95	87.2%	0.37
ある	5	9.8%	9	15.5%	14	12.8%	
広報資料の認知(複数回答)							
各行政のホームページ	41	80.4%	36	62.1%	77	70.6%	0.04
各行政の紙資料・ポスター・広報誌等	0	0.0%	6	10.3%	6	5.5%	0.02
HIVマップ	2	3.9%	10	17.2%	12	11.0%	0.03
HIV検査・相談マップ	5	9.8%	10	17.2%	15	13.8%	0.26
AC広告(エイズ予防財団)	3	5.9%	25	43.1%	28	25.7%	<0.01

表5. GCQ 沖縄地域のMSMを対象者とした受検者の特性（基本属性）

	年齢					合計 n=358	Pears on χ^2
	24歳以下 n=83	25-29歳 n=76	30-34歳 n=58	35-39歳 n=81	40歳以上 n=60		
性的指向							
ゲイ(同性愛者)	63 75.9%	55 72.4%	48 82.8%	66 81.5%	51 85.0%	283 79.1%	0.24
バイ(両性愛者)	18 21.7%	14 18.4%	7 12.1%	13 16.0%	8 13.3%	60 16.8%	
その他	2 2.4%	7 9.2%	3 5.2%	2 2.5%	1 1.7%	15 4.2%	
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか？							
一人暮らし	16 19.3%	28 36.8%	25 43.1%	46 56.8%	32 53.3%	147 41.1%	0.00
家族と同居	58 69.9%	41 53.9%	23 39.7%	24 29.6%	21 35.0%	167 46.6%	
家族以外と同居	9 10.8%	7 9.2%	10 17.2%	11 13.6%	7 11.7%	44 12.3%	
あなたは現在、結婚していますか？							
結婚している	1 1.2%	3 1.2%	1 3.9%	1 1.7%	3 1.2%	9 5.0%	0.49
結婚していない	82 98.8%	73 98.8%	57 96.1%	80 98.3%	57 98.8%	349 95.0%	
あなたは現在、健康保険を持っていますか？							
国民健康保険	31 37.3%	25 37.3%	22 32.9%	22 37.9%	20 27.2%	120 33.3%	0.00
職場の健康保険	29 34.9%	49 34.9%	34 64.5%	55 58.6%	40 67.9%	207 66.7%	
被扶養者の健康保険	13 15.7%	1 15.7%	2 1.3%	1 3.4%	0 1.2%	17 0.0%	
持っていない	10 12.0%	1 12.0%	0 1.3%	3 0.0%	0 3.7%	14 0.0%	

表6. GCQ ゲイ商業施設の生涯利用割合（複数回答）

	年齢					合計 n=358	Pearso χ^2
	24歳以下 n=83	25-29歳 n=76	30-34歳 n=58	35-39歳 n=81	40歳以上 n=60		
ゲイバー	70 84.3%	65 85.5%	53 91.4%	75 92.6%	59 98.3%	322 89.9%	0.04
ゲイナイト	47 56.6%	57 75.0%	46 79.3%	58 71.6%	50 83.3%	258 83.3%	0.00
ゲイショップ	21 25.3%	31 40.8%	43 74.1%	48 59.3%	41 68.3%	184 51.4%	0.00
PC出会い系サイト	62 74.7%	48 63.2%	31 53.4%	45 55.6%	33 55.0%	219 61.2%	0.04
携帯出会い系サイト	35 42.2%	26 34.2%	15 25.9%	30 37.0%	20 33.3%	126 35.2%	0.38
mixiなどのSNS	35 42.2%	44 57.9%	33 56.9%	39 48.1%	34 56.7%	185 51.7%	0.21
エロ系SNS	69 83.1%	53 69.7%	42 72.4%	57 70.4%	43 71.7%	264 73.7%	0.28
スマートフォンのゲイ向けアプリ	50 60.2%	50 65.8%	33 56.9%	47 58.0%	31 51.7%	211 58.9%	0.56
ゲイ向けサークル	11 13.3%	16 21.1%	13 22.4%	17 21.0%	16 26.7%	73 20.4%	0.37
ゲイ向け合コン	4 4.8%	11 14.5%	8 13.8%	10 12.3%	6 10.0%	39 10.9%	0.30
ゲイの乱パ	1 1.2%	5 6.6%	8 13.8%	9 11.1%	7 11.7%	30 8.4%	0.05
有料のハッテン場	32 38.6%	30 39.5%	43 74.1%	46 56.8%	40 66.7%	191 53.4%	0.00
野外のハッテン場	15 18.1%	17 22.4%	19 32.8%	30 37.0%	31 51.7%	112 31.3%	0.00
ハッテン場で有名な公共施設	12 14.5%	14 18.4%	24 41.4%	30 37.0%	31 51.7%	111 31.0%	0.00
いずれも利用なし	5 6.0%	5 6.6%	2 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	12 3.4%	0.06

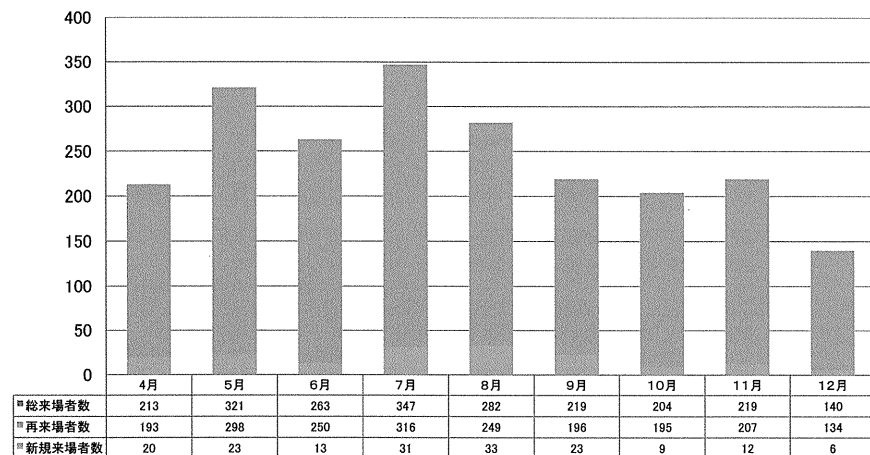
表7. GCQ HIV検査受検状況

	年齢					合計 n=358	Pears on χ^2
	24歳以下 n=83	25-29歳 n=76	30-34歳 n=58	35-39歳 n=81	40歳以上 n=60		
これまでにHIV抗体検査を受けようと思ったことはありますか？							
ある	62 74.7%	63 82.9%	52 89.7%	71 87.7%	53 88.3%	301 84.1%	0.08
ない	21 25.3%	13 17.1%	6 10.3%	10 12.3%	7 11.7%	57 15.9%	
これまでにHIV抗体検査を受けたことはありますか？							
ある	41 49.4%	46 60.5%	44 75.9%	55 67.9%	42 70.0%	228 63.7%	0.01
ない	42 50.6%	30 39.5%	14 24.1%	26 32.1%	18 30.0%	130 36.3%	
過去1年間にHIV抗体検査を受けたことはありますか？							
ある	24 28.9%	20 26.3%	21 36.2%	25 30.9%	17 28.3%	107 29.9%	
ない	59 71.1%	56 73.7%	37 63.8%	56 69.1%	43 71.7%	251 70.1%	0.79
過去1年の検査場所							
保健所の通常検査	12 14.5%	12 15.8%	6 10.3%	15 18.5%	5 8.3%	50 14.0%	0.43
保健所の即日検査	13 15.7%	13 17.1%	10 17.2%	10 12.3%	8 13.3%	54 15.1%	0.90
保健所の夜間検査	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	2 2.5%	0 0.0%	3 0.8%	0.29
医療センターなどの病院	1 1.2%	0 0.0%	4 6.9%	2 2.5%	3 5.0%	10 2.8%	0.10
クリニック・医院・診療所	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	1 1.2%	2 3.3%	4 1.1%	0.32
郵送検査キット	1 1.2%	0 0.0%	1 1.7%	1 1.2%	0 0.0%	3 0.8%	0.74
その他	1 1.2%	1 1.3%	1 1.7%	0 0.0%	1 1.7%	4 1.1%	0.86

表8. GCQ 介入活動の認知度

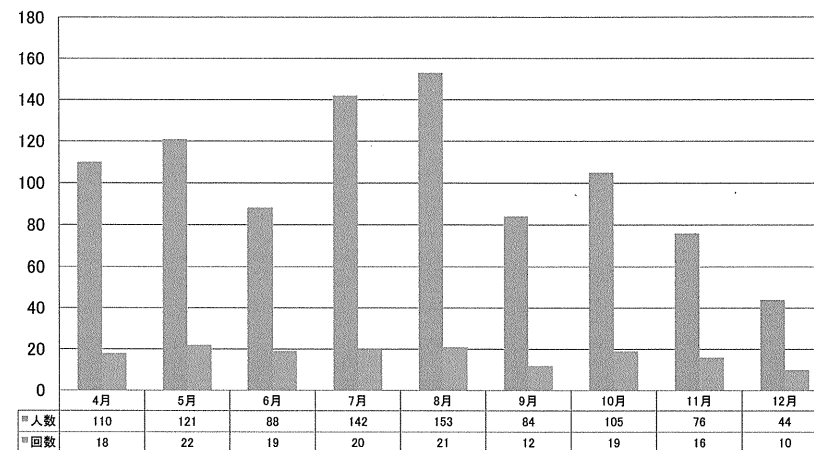
	年齢					合計 n=358	Pearso n χ^2
	24歳以下 n=83	25-29歳 n=76	30-34歳 n=58	35-39歳 n=81	40歳以上 n=60		
nankr(なんくる)を知っていますか？							
知っている	47 56.6%	57 75.0%	52 89.7%	70 86.4%	51 85.0%	277 77.4%	0.00
知らない	36 43.4%	19 25.0%	6 10.3%	11 13.6%	9 15.0%	81 22.6%	
沖縄コミュニティセンターmabui(まぶい)に行っただけですか？							
行ったことがある	31 37.3%	31 40.8%	18 31.0%	27 33.3%	13 21.7%	120 33.5%	0.02
知っているが行ったことない	29 34.9%	28 36.8%	35 60.3%	40 49.4%	33 55.0%	165 46.1%	
知らない	23 27.7%	17 22.4%	5 8.6%	14 17.3%	14 23.3%	73 20.4%	
nankr(なんくる)が配布しているコミュニティペーパーnankrを読んだことがありますか？							
読んだことがある	41 49.4%	50 65.8%	46 79.3%	56 69.1%	41 68.3%	234 65.4%	0.00
知っているが読んだことない	8 9.6%	4 5.3%	7 12.1%	11 13.6%	7 11.7%	37 10.3%	
知らない	34 41.0%	22 28.9%	5 8.6%	14 17.3%	12 20.0%	87 24.3%	
nankr(なんくる)が配布しているコンドームを持ち帰ったことがありますか？							
過去1年間に持ち帰った	32 38.6%	35 46.1%	35 60.3%	33 40.7%	36 60.0%	171 47.8%	0.00
1年以上前に持ち帰った	10 12.0%	15 19.7%	13 22.4%	16 19.8%	9 15.0%	63 17.6%	
知っているが持ち帰ったことない	6 7.2%	12 15.8%	4 6.9%	12 14.8%	8 13.3%	42 11.7%	
知らない	35 42.2%	14 18.4%	6 10.3%	20 24.7%	7 11.7%	82 22.9%	
これまでに沖縄のキャンペーンキャラクターを見たことがありますか？							
見た	22 26.5%	23 30.3%	19 32.8%	22 27.2%	12 20.0%	98 27.4%	0.59
見ていない	61 73.5%	53 69.7%	39 67.2%	59 72.8%	48 80.0%	260 72.6%	

図1.mabui来場者数



新規来場者数	再来場者数	総来場者数合計
170	2038	2208

図2.オープンスペース利用表



利用人数合計	利用回数合計
923	157

表9.HIV予防啓発プログラム

日付	テーマ	参加者数
4月21日(日)	なんくる倶楽部R「ゴムを相手につけさせるには？」 「出会い系でカラむ」	10(0)
6月16日(日)	大人の授業「HIV感染のメカニズム」 「お気に入りローションを見つける」	14(2)
7月14日(日)	LIVING TOGETHER in ピンクドット沖縄	来場者 800
8月18日(日)	なんくる倶楽部R「ゲイのシャベリ場 友達・彼氏がデキル秘訣」 「沖縄県内HIV陽性者手記 朗読」	16(2)
9月22日(日)	SEXUALITY ON THE BEACH	30
10月20日(日)	大人の授業「HIV感染予防のためのグッズ使用方法」 「ゲイのアダルトショップツアー」 「エイズ予防財団制作DVD視聴」	10(0)
11月16日(日)	LIVING TOGETHER in レッドリボンパーティー	42(5)
12月15日(日)	なんくる倶楽部R「漫画家”松武”先生のイラストで HIV予防啓発ポスターをみんなでつくろう！」	11(0)
12月10日(火)	ブラジル人HIV陽性者の講演会および情報交換会	17(0)
1月8日(水)	LIVING TOGETHER CAFE -ryukyu- in 宮古島	21
1月14日(火)	LIVING TOGETHER CAFE -ryukyu- in 石垣島	15

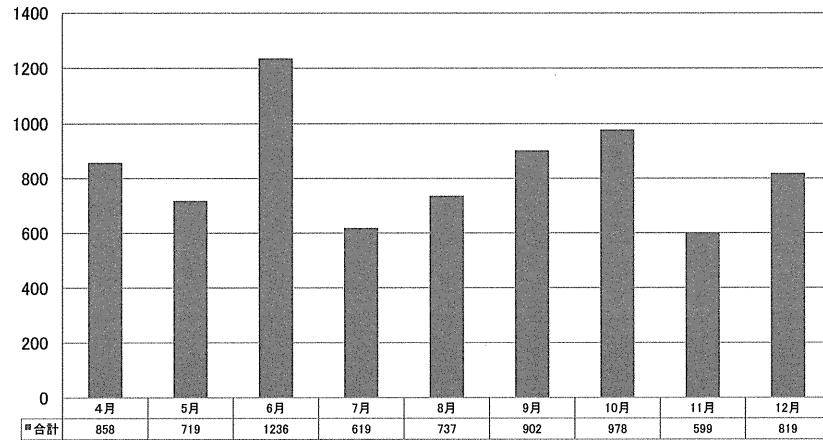
*()は新規来場者数

表10.mabuiへの誘導プログラム

日付	テーマ	参加者数
5月18日(土)	リョウコン「冷やし沖縄そば」	18(0)
7月20日(土)	mabuiバーリー「mabui夏フェス」	39(5)
8/1~8/18	TAXIPOOL 宮城信大朗 詩画展	—
9/5~9/22	懐かしいゲイ雑誌！”アドン”と”MLMW(ムルム)”展	—
9月8日(日)	アドン・MLMW展運動企画 南定四郎氏トークショー 「ゲイ・カルチャー」と「シチズンシップ」 主催：ゲイの老後を考える会「まじゅん」	14(0)
9月21日(土)	リョウコン「ゴーヤ炒めとコロコロアイス」	18(2)
11月16日(土)	mabuiバーリー「レッドリボンパーティー」(活動成果報告会実施)	42(5)
1月18日(土)	リョウコン「鍋コン(トマト鍋、塩ニンニク鍋)」	10(1)

*()は新規来場者数

図3.ゲイバーへのコンドーム補充数



補充数合計
7467

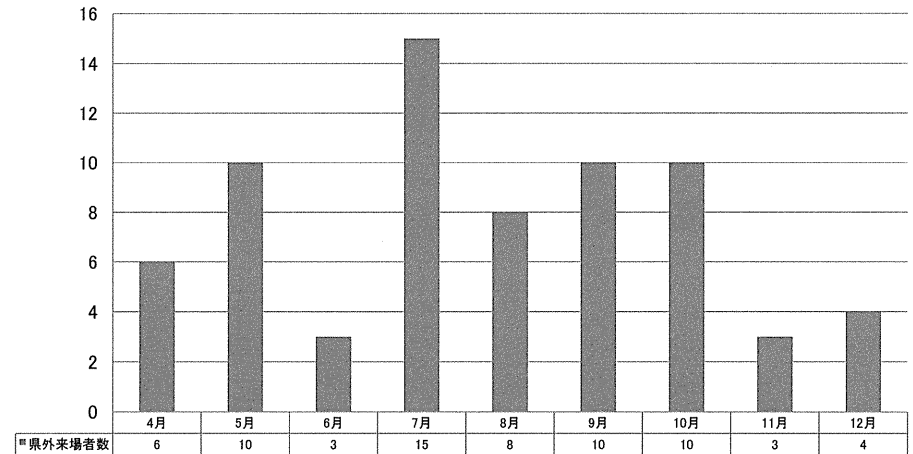
表11.クラブイベントの来場者が持ち帰った資材

日付	イベント	設置物
5月11日(土)	イベントA	mabuiパンフレット コミュニティペーパーペーパー コンドーム
7月6日(土)	イベントB	
7月13日(土)	イベントC	
9月7日(土)	イベントD	上記配布物に加え、 検査キャンペーンポスター・フライヤー レッドリボンパーティフライヤー他
11月3日(日)	イベントE	

表12.スポーツ大会で配布した資材とその数

日付	イベント	設置数
4月14日(日)	バレーボール大会A	98
4月21日(日)	バドミントン大会B	17
6月9日(日)	テニス大会C	76
9月1日(日)	テニス大会D	160
10月13日(日)	バドミントン大会E	39
11月3日(日)	バレーボール大会F	214
11月24日(日)	テニス大会G	121
合計		725

図4.沖縄に訪れるMSMの月別来場者数



県外利用者数合計
71

表13.ビーチパーティーにおける資材と配布数

日付	イベント	なんくるセット
7月7日(日)	ビーチパーティーA	300
合計		300

※なんくるセットの内訳

コンドーム、コミュニティペーパー、mabui/パンフレット、GCQアンケートフライヤー

表14.相談プログラム

月	相談件数	相談内容(複数)	相談件数
4月	6	ライフステージ	7
5月	5	アイデンティティ	5
6月	4	HIV感染不安	3
		恋愛・セックス	3
7月	6	STI感染不安	2
8月	1	STI検査に関する相談・報告	2
9月	1	HIV/エイズに関するその他(一般的な)質問	2
10月	0	精神的不安・疾患	2
		企業・行政等との協同	2
11月	1	HIV検査に関する相談・報告	1
		HIV陽性者としての生活・制度・支援	1
12月	1	HIV陽性者グループ・医療相談機関紹介	1
		HIV告知に関する相談	1
合計	23	その他の健康相談	1
		その他	6

表15.MSM休日検査会受験者数

MSM休日検査会(那覇市保健所)

受験者数	受験回数					年齢	10代	20代	30代	40代
	0回(初)	1~4回	5~9回	10回~	未記入					
14	1	8	2	0	3	1	3	9	1	

MSM休日検査会(南部保健所)

受験者数	受験回数			年齢	10代	20代	30代	40代
	0回(初)	1~5回	6~10回					
10	4	5	1	0	5	4	1	

付表1 GCQ アンケート (2013) 「年齢別の基礎属性」

	年齢										合計	Pearson χ^2	
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				n=358
	n=83	n=76	n=58	n=81	n=60								
性的指向													
ゲイ(同性愛者)	63	75.9%	55	72.4%	48	82.8%	66	81.5%	51	85.0%	283	79.1%	0.24
バイ(両性愛者)	18	21.7%	14	18.4%	7	12.1%	13	16.0%	8	13.3%	60	16.8%	
その他	2	2.4%	7	9.2%	3	5.2%	2	2.5%	1	1.7%	15	4.2%	
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか？													
一人暮らし	16	19.3%	28	36.8%	25	43.1%	46	56.8%	32	53.3%	147	41.1%	0.00
家族と同居	58	69.9%	41	53.9%	23	39.7%	24	29.6%	21	35.0%	167	46.6%	
家族以外と同居	9	10.8%	7	9.2%	10	17.2%	11	13.6%	7	11.7%	44	12.3%	
あなたは現在、結婚していますか？													
結婚している	1	1.2%	3	1.2%	1	3.9%	1	1.7%	3	1.2%	9	5.0%	0.49
結婚していない	82	98.8%	73	98.8%	57	96.1%	80	98.3%	57	98.8%	349	95.0%	
あなたは現在、健康保険を持っていますか？													
国民健康保険	31	37.3%	25	37.3%	22	32.9%	22	37.9%	20	27.2%	120	33.3%	0.00
職場の健康保険	29	34.9%	49	34.9%	34	64.5%	55	58.6%	40	67.9%	207	66.7%	
被扶養者の健康保険	13	15.7%	1	15.7%	2	1.3%	1	3.4%	0	1.2%	17	0.0%	
持っていない	10	12.0%	1	12.0%	0	1.3%	3	0.0%	0	3.7%	14	0.0%	
次の中でこれまでに利用したものはありますか？ (あてはまるものすべて)													
ゲイバー	70	84.3%	65	85.5%	53	91.4%	75	92.6%	59	98.3%	322	89.9%	0.04
ゲイナイト	47	56.6%	57	75.0%	46	79.3%	58	71.6%	50	83.3%	258	83.3%	0.00
ゲイショップ	21	25.3%	31	40.8%	43	74.1%	48	59.3%	41	68.3%	184	51.4%	0.00
PC出会い系サイト	62	74.7%	48	63.2%	31	53.4%	45	55.6%	33	55.0%	219	61.2%	0.04
携帯出会い系サイト	35	42.2%	26	34.2%	15	25.9%	30	37.0%	20	33.3%	126	35.2%	0.38
mixiなどのSNS	35	42.2%	44	57.9%	33	56.9%	39	48.1%	34	56.7%	185	51.7%	0.21
工口系SNS	69	83.1%	53	69.7%	42	72.4%	57	70.4%	43	71.7%	264	73.7%	0.28
スマートフォンのゲイ向けアプリ	50	60.2%	50	65.8%	33	56.9%	47	58.0%	31	51.7%	211	58.9%	0.56
ゲイ向けサークル	11	13.3%	16	21.1%	13	22.4%	17	21.0%	16	26.7%	73	20.4%	0.37
ゲイ向け合コン	4	4.8%	11	14.5%	8	13.8%	10	12.3%	6	10.0%	39	10.9%	0.30
ゲイの乱パ	1	1.2%	5	6.6%	8	13.8%	9	11.1%	7	11.7%	30	8.4%	0.05
有料のハッテン場	32	38.6%	30	39.5%	43	74.1%	46	56.8%	40	66.7%	191	53.4%	0.00
野外のハッテン場	15	18.1%	17	22.4%	19	32.8%	30	37.0%	31	51.7%	112	31.3%	0.00
ハッテン場で有名な公共施設	12	14.5%	14	18.4%	24	41.4%	30	37.0%	31	51.7%	111	31.0%	0.00
いずれも利用なし	5	6.0%	5	6.6%	2	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	12	3.4%	0.06

付表2 GCQ アンケート (2013) 「年齢別の検査行動、HIVの身近さ、性感染症罹患、性行動」

	年齢										合計 n=358	Pearson χ^2	
	24歳以下 n=83		25-29歳 n=76		30-34歳 n=58		35-39歳 n=81		40歳以上 n=60				
これまでにHIV抗体検査を受けようと思ったことはありますか？													
ある	62	74.7%	63	82.9%	52	89.7%	71	87.7%	53	88.3%	301	84.1%	0.08
ない	21	25.3%	13	17.1%	6	10.3%	10	12.3%	7	11.7%	57	15.9%	
これまでにHIV抗体検査を受けたことはありますか？													
ある	41	49.4%	46	60.5%	44	75.9%	55	67.9%	42	70.0%	228	63.7%	0.01
ない	42	50.6%	30	39.5%	14	24.1%	26	32.1%	18	30.0%	130	36.3%	
過去1年間にHIV抗体検査を受けたことはありますか？													
ある	24	28.9%	20	26.3%	21	36.2%	25	30.9%	17	28.3%	107	29.9%	
ない	59	71.1%	56	73.7%	37	63.8%	56	69.1%	43	71.7%	251	70.1%	0.79
過去1年の検査場所													
保健所の通常検査	12	14.5%	12	15.8%	6	10.3%	15	18.5%	5	8.3%	50	14.0%	0.43
保健所の即日検査	13	15.7%	13	17.1%	10	17.2%	10	12.3%	8	13.3%	54	15.1%	0.90
保健所の夜間検査	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	2	2.5%	0	0.0%	3	0.8%	0.29
医療センターなどの病院	1	1.2%	0	0.0%	4	6.9%	2	2.5%	3	5.0%	10	2.8%	0.10
クリニック・医院・診療所	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.2%	2	3.3%	4	1.1%	0.32
郵送検査キット	1	1.2%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.2%	0	0.0%	3	0.8%	0.74
その他	1	1.2%	1	1.3%	1	1.7%	0	0.0%	1	1.7%	4	1.1%	0.86
あなたの友達や知り合いにHIVに感染している人はいると思いますか？													
いる	8	9.6%	13	17.1%	19	32.8%	33	40.7%	19	31.7%	92	25.7%	0.00
いると思う	20	24.1%	15	19.7%	14	24.1%	11	13.6%	19	31.7%	79	22.1%	
いないと思う	22	26.5%	19	25.0%	7	12.1%	11	13.6%	8	13.3%	67	18.7%	
いない	13	15.7%	7	9.2%	1	1.7%	3	3.7%	3	5.0%	27	7.5%	
わからない	20	24.1%	22	28.9%	17	29.3%	23	28.4%	11	18.3%	93	26.0%	
過去6カ月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？													
ある	27	32.5%	15	19.7%	24	41.4%	28	34.6%	17	28.3%	111	31.0%	0.22
ない	31	37.3%	40	52.6%	23	39.7%	30	37.0%	25	41.7%	149	41.6%	
彼氏・恋人がいなかった	25	30.1%	21	27.6%	11	19.0%	23	28.4%	18	30.0%	98	27.4%	
過去6カ月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？													
ある	39	47.0%	33	43.4%	31	53.4%	42	51.9%	30	50.0%	175	48.9%	0.77
ない	44	53.0%	43	56.6%	27	46.6%	39	48.1%	30	50.0%	183	51.1%	
過去6カ月間に周囲の人とHIVやエイズについて話したことがありますか？													
ある	45	54.2%	37	48.7%	34	58.6%	45	55.6%	31	51.7%	192	53.6%	0.82
なし	78	94.0%	75	98.7%	53	91.4%	75	92.6%	52	86.7%	333	93.0%	
次の中で、これまでにかかったことがある性感染症はありますか？(あてはまるものすべて)													
梅毒	5	6.0%	1	1.3%	5	8.6%	6	7.4%	8	13.3%	25	7.0%	0.10
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	2	0.6%	0.14
B型肝炎	3	3.6%	0	0.0%	5	8.6%	8	9.9%	7	11.7%	23	6.4%	0.03
クラミジア	2	2.4%	7	9.2%	4	6.9%	5	6.2%	0	0.0%	18	5.0%	0.10
尖圭コンジローマ	1	1.2%	4	5.3%	2	3.4%	4	4.9%	1	1.7%	12	3.4%	0.53
淋病	0	0.0%	3	3.9%	4	6.9%	3	3.7%	4	6.7%	14	3.9%	0.20
HIV感染症	2	2.4%	2	2.6%	2	3.4%	2	2.5%	1	1.7%	9	2.5%	0.98
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	1	0.3%	0.49
毛じらみ	15	18.1%	16	21.1%	29	50.0%	26	32.1%	24	40.0%	110	30.7%	0.00
性器ヘルペス	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	1	1.2%	3	5.0%	5	1.4%	0.10
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	1	1.7%	2	0.6%	0.52
いずれもなし	63	75.9%	49	64.5%	21	36.2%	41	50.6%	23	38.3%	197	55.0%	0.00
これまでに男性とセックスをしたことがありますか？													
ある	76	91.6%	70	92.1%	57	98.3%	75	92.6%	60	100.0%	338	94.4%	0.10
ない	7	8.4%	6	7.9%	1	1.7%	6	7.4%	0	0.0%	20	5.6%	
これまでに男性とアナルセックスをしたことがありますか？													
ある	69	83.1%	65	85.5%	56	96.6%	73	90.1%	54	90.0%	317	88.5%	0.13
ない	14	16.9%	11	14.5%	2	3.4%	8	9.9%	6	10.0%	41	11.5%	

付表3 GCQ アンケート (2013) 「年齢別の性行動」

	年齢										合計	Pearson χ^2	
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				
過去6ヶ月間のアナルセックス経験													
過去6ヶ月間あり	59	85.5%	59	90.8%	47	83.9%	58	79.5%	39	72.2%	262	82.6%	0.09
過去6ヶ月間なし	10	14.5%	6	9.2%	9	16.1%	15	20.5%	15	27.8%	55	17.4%	
合計	69	100.0%	65	100.0%	56	100.0%	73	100.0%	54	100.0%	317	100.0%	
コンドーム使用状況													
非常用	37	62.7%	31	52.5%	21	44.7%	30	51.7%	19	48.7%	138	52.7%	0.43
常用	22	37.3%	28	47.5%	26	55.3%	28	48.3%	20	51.3%	124	47.3%	
合計	59	100.0%	59	100.0%	47	100.0%	58	100.0%	39	100.0%	262	100.0%	
彼氏や恋人などの相手とのコンドーム使用状況													
非常用	17	45.9%	15	57.7%	12	63.2%	13	56.5%	9	60.0%	66	55.0%	
常用	20	54.1%	11	42.3%	7	36.8%	10	43.5%	6	40.0%	54	45.0%	
合計	37	100.0%	26	100.0%	19	100.0%	23	100.0%	15	100.0%	120	100.0%	
友達やセフレなど恋人ではない特定の相手とのコンドーム使用状況													
非常用	19	76.0%	11	47.8%	7	35.0%	10	55.6%	10	55.6%	57	54.8%	0.09
常用	6	24.0%	12	52.2%	13	65.0%	8	44.4%	8	44.4%	47	45.2%	
合計	25	100.0%	23	100.0%	20	100.0%	18	100.0%	18	100.0%	104	100.0%	
その場限りの相手とのコンドーム使用状況													
非常用	13	76.5%	9	47.4%	5	27.8%	13	54.2%	7	50.0%	47	51.1%	0.07
常用	4	23.5%	10	52.6%	13	72.2%	11	45.8%	7	50.0%	45	48.9%	
合計	17	100.0%	19	100.0%	18	100.0%	24	100.0%	14	100.0%	92	100.0%	

付表4 GCQ アンケート (2013) : 年齢別の性行動、薬物使用、金銭を介した性行動、資材認知

	年齢										合計 n=358	Pearson χ^2	
	24歳以下 n=83		25-29歳 n=76		30-34歳 n=58		35-39歳 n=81		40歳以上 n=60				
過去6ヶ月間に、口内射精をしたことがありますか？または、口内射精をされたことはありますか？													
口内射精したことがある	23	27.7%	28	36.8%	19	32.8%	20	24.7%	10	16.7%	100	27.9%	0.00
口内射精されたことがある	16	19.3%	3	3.9%	10	17.2%	4	4.9%	4	6.7%	37	10.3%	
どちらもある	16	19.3%	13	17.1%	8	13.8%	10	12.3%	7	11.7%	54	15.1%	
どちらもない	28	33.7%	32	42.1%	21	36.2%	47	58.0%	39	65.0%	167	46.6%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験													
いずれもなし	71	85.5%	67	88.2%	47	81.0%	62	76.5%	47	78.3%	294	82.1%	0.18
パイアグラのみ併用	2	2.4%	2	2.6%	3	5.2%	4	4.9%	7	11.7%	18	5.0%	
他の薬物併用経験あり	10	12.0%	7	9.2%	8	13.8%	15	18.5%	6	10.0%	46	12.8%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験 (再掲)													
いずれもなし	71	85.5%	67	88.2%	47	81.0%	62	76.5%	47	78.3%	294	82.1%	0.30
他の薬物併用経験あり	12	14.5%	9	11.8%	11	19.0%	19	23.5%	13	21.7%	64	17.9%	
過去6ヶ月間に、コンドームを買ったことがありますか？													
ある	29	34.9%	28	36.8%	34	58.6%	36	44.4%	19	31.7%	146	40.8%	0.02
ない	54	65.1%	48	63.2%	24	41.4%	45	55.6%	41	68.3%	212	59.2%	
過去6ヶ月間に、コンドームをすぐに使えるようにいつも身近に持っていましたか？													
いつも持っていた	24	28.9%	32	42.1%	31	53.4%	40	49.4%	28	46.7%	155	43.3%	0.01
時々持っていた	22	26.5%	14	18.4%	16	27.6%	23	28.4%	16	26.7%	91	25.4%	
持っていなかった	37	44.6%	30	39.5%	11	19.0%	18	22.2%	16	26.7%	112	31.3%	
過去6ヶ月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？													
ある	10	12.0%	6	7.9%	8	13.8%	9	11.1%	5	8.3%	38	10.6%	0.78
ない	73	88.0%	70	92.1%	50	86.2%	72	88.9%	55	91.7%	320	89.4%	
過去6ヶ月間に相手にお金をもらってセックスをしたことがありますか？													
ある	14	16.9%	4	5.3%	5	8.6%	6	7.4%	0	0.0%	29	8.1%	0.01
ない	69	83.1%	72	94.7%	53	91.4%	75	92.6%	60	100.0%	329	91.9%	
nankr(なんくる)を知っていますか？													
知っている	47	56.6%	57	75.0%	52	89.7%	70	86.4%	51	85.0%	277	77.4%	0.00
知らない	36	43.4%	19	25.0%	6	10.3%	11	13.6%	9	15.0%	81	22.6%	
沖縄コミュニティセンターmabui(まぶい)に行ったことがありますか？													
行ったことがある	31	37.3%	31	40.8%	18	31.0%	27	33.3%	13	21.7%	120	33.5%	0.02
知っているが行ったことない	29	34.9%	28	36.8%	35	60.3%	40	49.4%	33	55.0%	165	46.1%	
知らない	23	27.7%	17	22.4%	5	8.6%	14	17.3%	14	23.3%	73	20.4%	
nankr(なんくる)が配布しているコミュニティペーパーnankrを読んだことがありますか？													
読んだことがある	41	49.4%	50	65.8%	46	79.3%	56	69.1%	41	68.3%	234	65.4%	0.00
知っているが読んだことない	8	9.6%	4	5.3%	7	12.1%	11	13.6%	7	11.7%	37	10.3%	
知らない	34	41.0%	22	28.9%	5	8.6%	14	17.3%	12	20.0%	87	24.3%	
nankr(なんくる)が配布しているコンドームを持ち帰ったことがありますか？													
過去1年間に持ち帰った	32	38.6%	35	46.1%	35	60.3%	33	40.7%	36	60.0%	171	47.8%	0.00
1年以上前に持ち帰った	10	12.0%	15	19.7%	13	22.4%	16	19.8%	9	15.0%	63	17.6%	
知っているが持ち帰ったことない	6	7.2%	12	15.8%	4	6.9%	12	14.8%	8	13.3%	42	11.7%	
知らない	35	42.2%	14	18.4%	6	10.3%	20	24.7%	7	11.7%	82	22.9%	
これまでに沖縄のキャンペーンキャラクターを見たことがありますか？													
見た	22	26.5%	23	30.3%	19	32.8%	22	27.2%	12	20.0%	98	27.4%	0.59
見ていない	61	73.5%	53	69.7%	39	67.2%	59	72.8%	48	80.0%	260	72.6%	

MSM における HIV 感染の行動科学調査および介入評価研究

研究分担者：金子典代（名古屋市立大学看護学部 准教授）

研究協力者：塩野徳史（名古屋市立大学看護学部）、健山正男（琉球大学大学院医学研究科）、山本政弘（国立病院機構九州医療センター）、鬼塚哲郎（京都産業大学/MASH 大阪）、内海眞（国立病院機構東名古屋病院）、伊藤俊弘（国立病院機構仙台医療センター）、岩橋恒太（名古屋市立大学看護学部/特定非営利活動法人 akta）、金城健（nankr 沖縄/公益財団法人エイズ予防財団）、牧園裕也（Love Act Fukuoka/公益財団法人エイズ予防財団）、後藤大輔（MASH 大阪/公益財団法人エイズ予防財団）、石田敏彦（Angel Life Nagoya）、荒木順子（特定非営利活動法人 akta）、太田貴（やろっこ）、新山賢（HaaT えひめ）、市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

研究要旨

各地域の MSM の予防行動の実態把握とゲイの CBO が実施する介入評価のためのインターネット横断調査および追跡パネル調査である Gay Community-based Quest（以下、GCQ アンケート）を開発、実施してきた。本年度は、各地域が焦点を絞った検査行動、予防行動促進のための介入を行い、その介入の前後でその介入を実施した地域の MSM に対して GCQ アンケートを実施し、コミュニティの変化をパネル調査により確実にとらえられるようにすることを目的に実施した。2013 年度に実施した横断調査では 3,567 件の有効回答を得た。3,567 名のうち 1,918 名が追跡パネル調査への参加に同意した。第 1 回パネル調査で 630 名（32.8%）、2 回目のパネル調査を実施し 716 名（37.8%）が継続的に回答した。本研究では、地域別の 2013 年度の横断調査の結果、パネル調査の結果について報告を行う。

パネル調査を実施することで、同一対象者の複数時点間の行動の変化をとらえること、ゲイ向け商業施設の利用頻度、新規利用者、予防啓発への接触と行動変容の因果関係を検証することが可能となったが、各地域での介入効果分析につなげるためには、介入のターゲットを定めること、効果評価指標を明確にし、より多くの対象者人数を確保する必要性が示された。

A. 研究目的

本研究の目的は、インターネット横断調査、対象者が追跡可能な追跡パネル調査を実施し、各地域の MSM の HIV 感染に関連する検査行動や性行動の実態を明らかにすること、追跡パネル調査からは介入の効果評価の可能性を明らかにすることを目的とした。

B. 研究方法

本研究班の介入地域である東北地域、関東

地域、東海地域、近畿地域、中四国地域、九州地域、沖縄県に居住するゲイ・バイセクシュアル男性を対象に、インターネットを用いて横断調査を実施した後、その後の調査参加を呼びかけ、追跡調査を 2 回実施した。

対象者の横断調査時のリクルートでは、ゲイ向けクラブイベントやスポーツ大会と協同した広報資材への掲載や Community Based Organization（以下、CBO）が発行配布するコミュニティペーパーでの掲載、CBO が協力し

たイベント開場や有料のハッテン場での来場時にアクセスカードの配布等の方法を用いた。

質問項目は基本属性、HIV 抗体検査受検経験、HIV や検査に対する意識、性行動、資材認知等とした。資材やCBOの活動の認知には各地域の居住者向けに、適した画像を使用し、地域ごとにカスタマイズできるシステムを構築した。

2013年度の横断調査の実施期間は4月7日-7月21日までの約3ヶ月間であり、横断調査に回答後、今後のアンケートの継続意思について尋ね、継続意思を示した人にはメールアドレスの入力を任意で依頼した。その後7月26日-8月4日と10月4-10月14日の約10日間ずつ、継続調査の依頼メールを送付し、回答を依頼した。

分析では重複回答を除き、生年月日とアドレスによって同一の対象であることを確認後分析対象とした。

横断調査結果の分析

各地域の対象者について、ゲイ向け商業施設の生涯、過去6か月の利用経験、HIV検査の受検意図、生涯と過去1年の受検行動、過去6か月間のアナルセックスの実施、過去6か月間のコンドーム使用行動について常用率（いかなる相手でもコンドームを毎回使用していたものの割合）について基礎集計を行った。検査行動、性行動、コンドーム使用行動については2012年の結果と比較を行った。

追跡パネル調査結果の分析

追跡パネル調査回答集団の特性を把握するために2012年、2013年の分析対象者について1)追跡パネル調査に参加する意思のあるものを継続参加者、参加意思のないものを継続不参加者として2群の差異を検討した。さらに2)参加意思あり群について継続した調査に全て回答したものと全く回答しなかったもの、いずれか回答したものに分類し、その

群間の差異を検討した。2012年度は4回の追跡パネル調査のうち、全てに回答していないが、いずれか1回に回答したものを「いずれか回答」とした。2013年度は全てに回答しなかったもののうち、「7月のみ回答」「10月のみ回答」に分類した。

最後に予防介入の効果評価の可能性を検討するため2013年度の調査結果から、全ての調査に回答したものを対象に、リクルート時の状況をBase Lineとし、10月の回答を3ヶ月後の状況と考え、その間の差異について検討した。

介入プログラムの効果評価とするために分析対象を介入プログラム認知レベル毎に4群に分類した。

- 1) Base Line時に認知のあった人で3ヶ月後にも認知のあった人
- 2) Base Line時に認知のあった人で3ヶ月後には認知がなかった人
- 3) Base Line時に認知のなかった人で3ヶ月後には認知のあった人
- 4) Base Line時に認知のなかった人で3ヶ月後にも認知がなかった人

検討する介入プログラムは、コミュニティセンター、コミュニティペーパー、コンドーム配布とした。分析にあたっては、それぞれの介入プログラムについて新規接触率；Base Line時に認知のなかった人のうち、3ヶ月後には認知ありとなった人の割合、再接触率；Base Line時に認知のあった人のうち3ヶ月後にも認知ありであった人の割合と定義し算出した。

予防介入によって変動する可能性のある指標として、検査行動とコンドーム使用行動、コンドーム購入経験、コンドーム所持経験を用いた。

- 検査行動およびコンドーム購入経験、コンドーム所持経験

Base Line時に4月から6月の経験を尋ね、

3ヶ月後のフォローアップでは7月から9月の経験を尋ねることで、過去3ヶ月間の経験割合を指標として用いた。これらの指標は、介入プログラムの効果があった場合に割合が増加する指標と考えた。

・コンドーム使用行動

Base Line時、3ヶ月後のフォローアップ時、相手別（特定相手とその場限りの相手）に過去1ヶ月間のアナルセックスにおけるコンドーム使用状況を尋ね、非常用であった人の割合を2時点で比較した。したがって非常用でなかった人のなかには、過去1ヶ月間にアナルセックス経験のなかったものとコンドームを常用していた人が含まれている。CB0の行う介入プログラムによってセーフセックスの行動が促進された場合にはアナルセックスをしないという選択肢も含まれると考えられたためこの指標を用いた。これらの指標は、介入プログラムの効果があった場合に割合が減少する指標と考えた。

本研究班において、実施している研究計画については、調査ごとに名古屋市立大学看護学部倫理委員会より承認を得て実施した（ID番号：11027-2）。

本研究のデータ分析にはSPSS20.0verを用いた。カイ二乗検定など統計的検定を行う際の有意水準は5%とした。

C. 研究結果

1. インターネット横断調査および追跡パネル調査の対象者参加状況

2013年の4-7月に実施した第1回の横断調査では、東北は182件（2012年度：172件）、関東では491件（2012年度：873件）、東海では364件（2012年度：423件）、近畿は943件（2012年度：548件）、中四国は502件（2012年度四国のみ：370件）、九州は649件（2012年度：451件）、沖縄は358件（2012年度：305件）の回答を得た。

1) 東北地域の横断調査の結果

生涯のゲイバー利用経験を年齢別にみると、35歳以上の対象者では95%を超していた（図1a）。過去6か月のゲイバー利用経験は63-90%であった。有料ハッテン場の生涯の利用経験は40歳以上37%と他の年齢層より低いものの、年齢層が高いほど生涯での利用経験が高くなっていた（図1b）。有料ハッテン場の過去6か月の利用は、40歳以上にて最も高く、41%であった。

HIV抗体検査行動は、検査の受検意図、生涯の受検経験は2012年と2013年の結果に差はなかったが、過去1年の受検経験は2012年の35.3%より2013年には29.1%と低下していた（図2）。過去6か月のアナルセックス時のコンドームの常用率は42.9%から36.2%と低下していた（図3）。

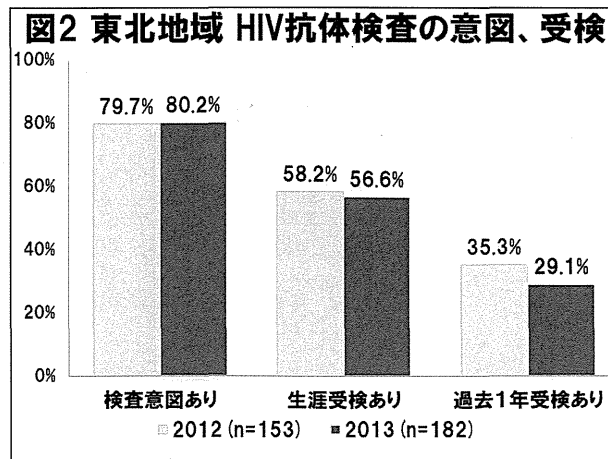
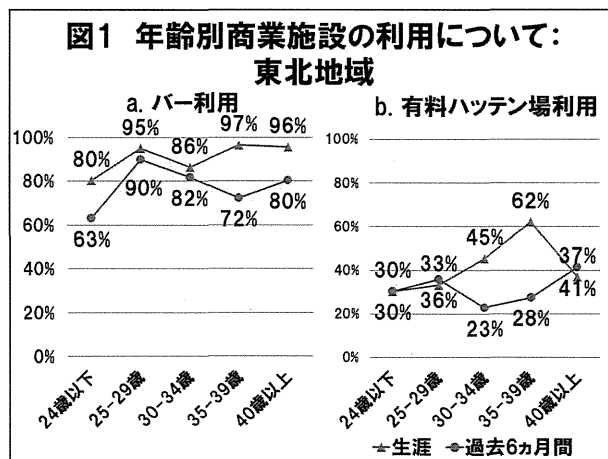
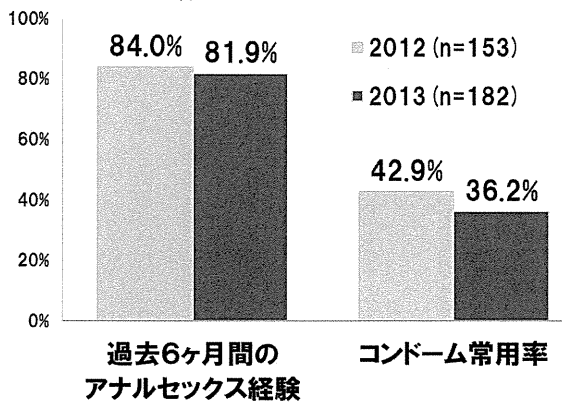


表1. 地域別:過去1年検査受検場所

	東北		関東圏		東海		近畿		九州		沖縄	
	2012	2013	2012	2013	2012	2013	2012	2013	2012	2013	2012	2013
保健所の通常検査	14.4%	14.8%	14.2%	15.1%	13.5%	17.0%	15.7%	16.2%	12.2%	16.2%	11.4%	14.0%
保健所の即日検査	11.8%	12.6%	8.3%	9.2%	17.0%	24.7%	6.9%	9.3%	12.2%	13.6%	23.3%	15.1%
保健所の夜間検査	3.3%	0.0%	1.1%	1.4%	2.6%	1.9%	2.0%	2.0%	1.2%	0.8%	2.0%	0.8%
病院	2.6%	3.3%	2.0%	7.3%	2.9%	4.7%	4.7%	4.9%	3.2%	4.5%	4.5%	2.8%
クリニック・医院	3.9%	2.7%	4.6%	8.4%	2.9%	2.7%	8.1%	7.2%	3.5%	4.6%	2.0%	1.1%
郵送検査キット	2.0%	0.0%	0.6%	1.2%	1.8%	0.3%	2.4%	1.6%	0.0%	1.1%	0.8%	0.8%
その他	1.3%	0.5%	2.5%	2.0%	3.5%	4.4%	1.6%	1.4%	0.5%	0.8%	0.8%	1.1%

図3 東北地域 性行動とコンドーム常用率



2) 関東地域の横断調査の結果

ゲイバーの生涯の利用経験はいずれの年代層でも高く70%を超えており、年齢が上がるにつれて高くなっていった(図4a)。過去6か月でのゲイバー利用経験は49-67%であり、30-34歳代で最も高く40歳以上の層でも67%が利用していた。有料ハッテン場の過去6か月の利用割合については、35-39歳代まで年齢層が高くなるほど利用割合が上がっており、35-39歳層が最も高く62%であった(図4b)。

HIV抗体検査の受検行動は、検査の意図、生涯の受検経験、過去1年の受検経験いずれも2013年は2012年より上昇が見られた(図5)。過去1年の検査受検経験は35%であった。過去6か月のコンドームの常用率は44.2%であった(図6)。

図4 年齢別商業施設の利用について: 関東地域

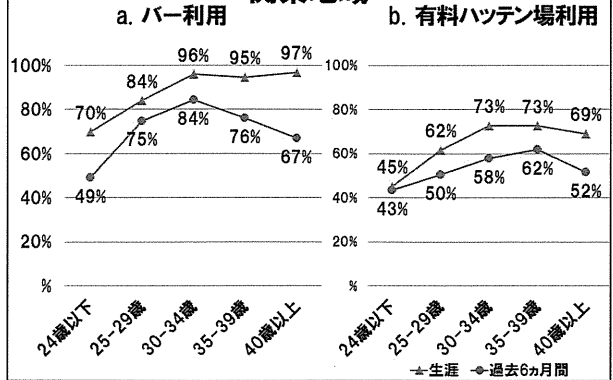


図5 関東地域 HIV抗体検査受検

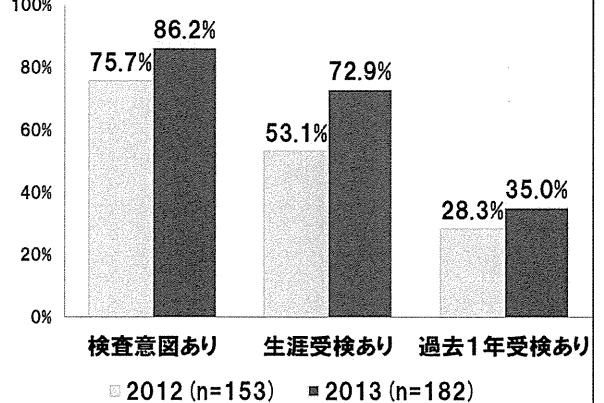
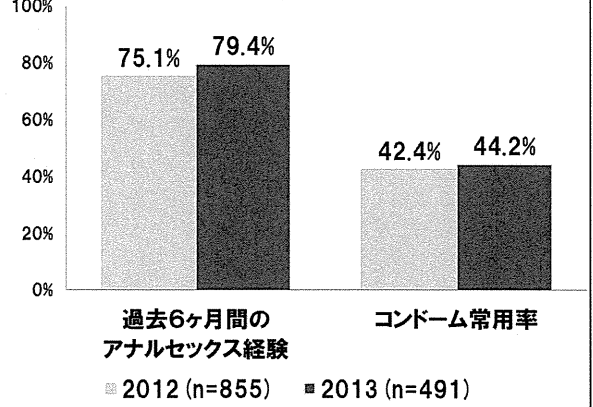


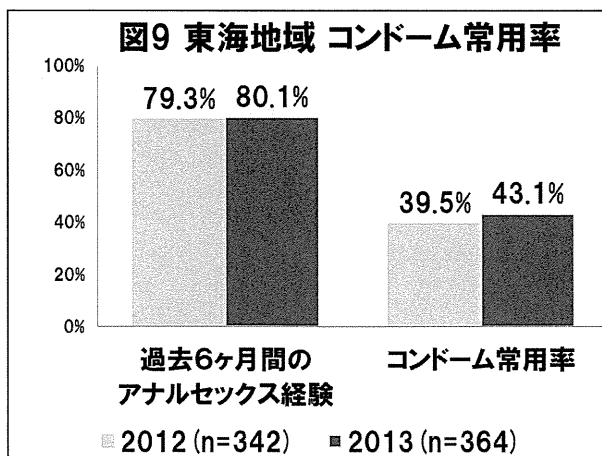
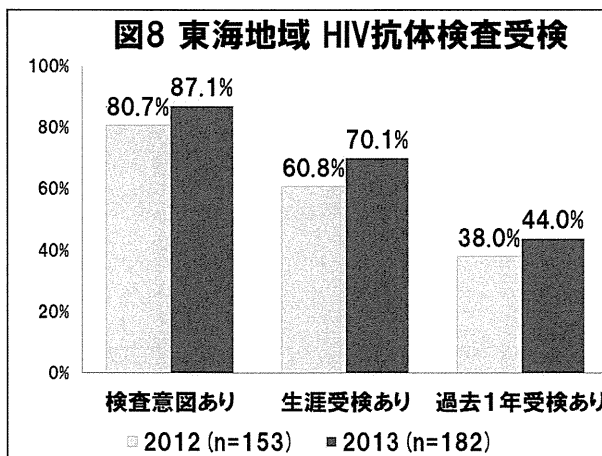
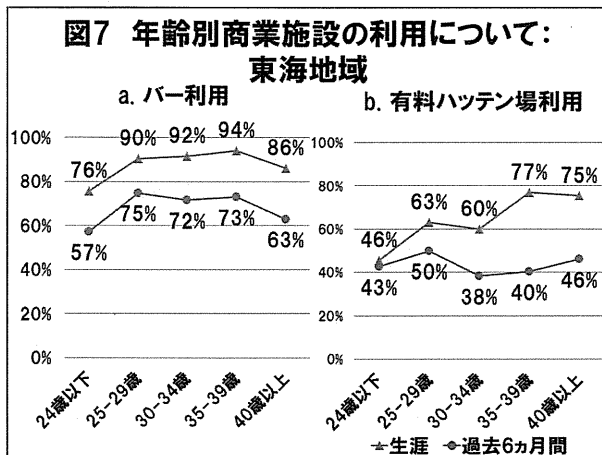
図6 関東地域 コンドーム常用率



3) 東海地域の横断調査の結果

ゲイバー利用については、生涯の利用経験はいずれの年代層でも高く、25歳から39歳の群では90%以上において利用経験があった(図7a)。過去6か月での利用経験は57-75%であり30-34歳代で25歳から39歳の層ではいずれも7割を超えており高かった。有料ハッテン場の過去6か月の利用経験は、25-29歳代が最も高く50%であった(図7b)。

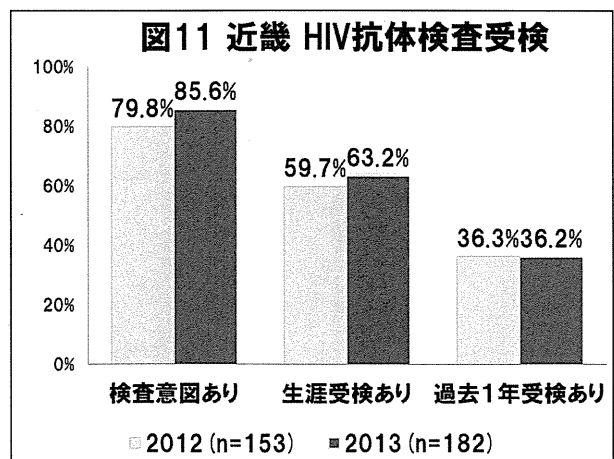
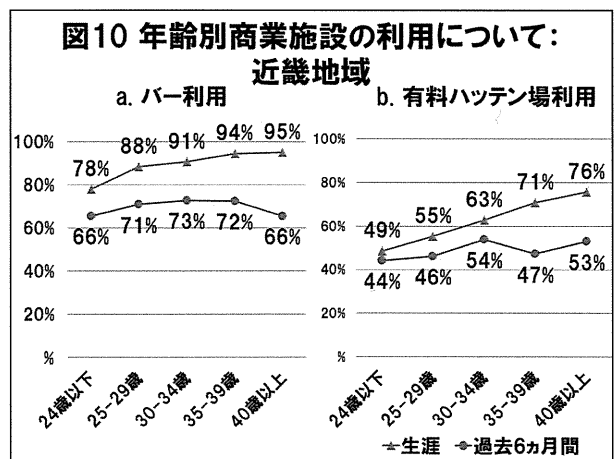
HIV 抗体検査の受検行動は、検査の意図、生涯の受検経験、過去1年の受検経験いずれも2013年は2012年より上昇が見られており、過去1年の検査受検経験は44%と全国でも最も高かった(図8)。過去1年に利用したHIV検査機関は保健所の即日検査が全体の24.7%と他地域よりも高かった。過去6か月のコンドームの常用率は43.1%であった(図9)。

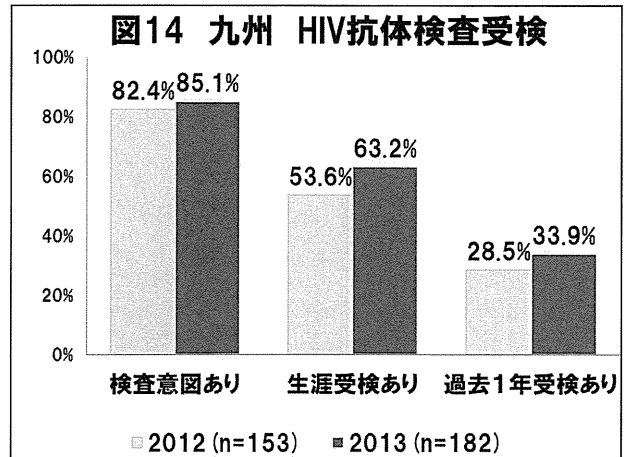
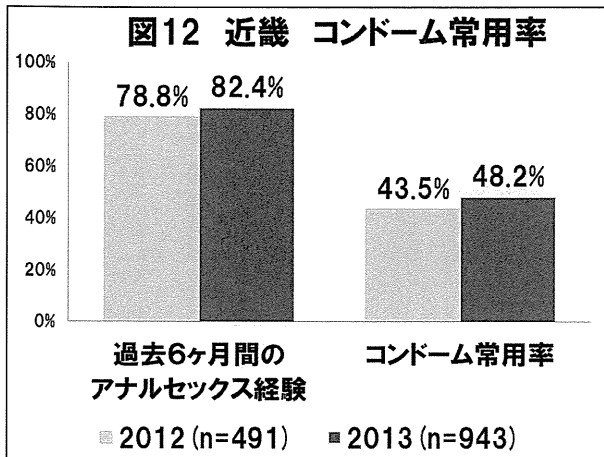


4) 近畿地域の横断調査の結果

ゲイバー利用については、生涯の利用経験はいずれの年代層でも高く30歳以上の群では90%以上において利用経験があった(図10a)。過去6か月のゲイバーの利用経験は66-73%であり25-39歳の群で7割を超しており高かった。有料ハッテン場の過去6か月の利用経験は、いずれの年齢層でも4割を超しており、30-34歳、40歳以上の群では5割を超していた(図10b)。

HIV 抗体検査の受検行動は、検査の意図、生涯の受検経験において2013年は2012年より上昇が見られていた(図11)。過去1年の受検経験は36.2%であり、特に過去1年のHIV抗体検査の受検場所としてクリニック・医院を挙げたものが7.2%と他地域より高かった(表1)。過去6か月のコンドームの常用率は48.2%であった(図12)。

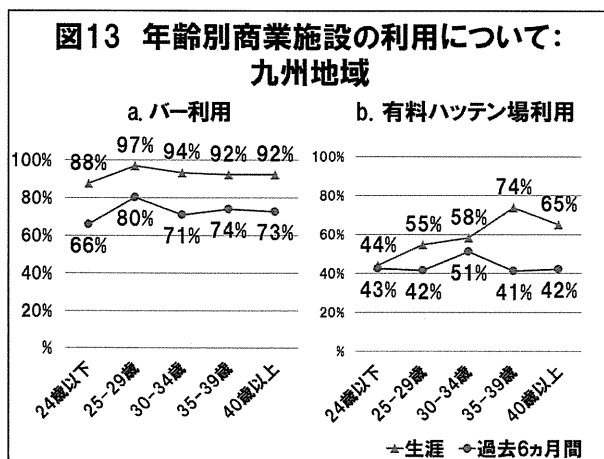
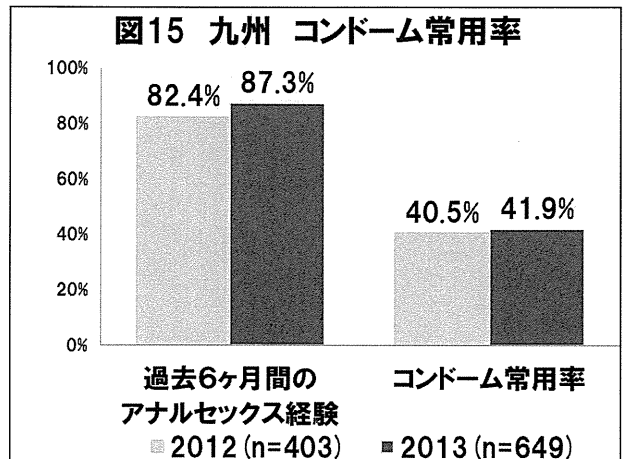




5) 九州地域の横断調査の結果

ゲイバー利用については、生涯の利用経験はいずれの年代層でも高く 25 歳以上の群すべてにおいて 90%以上の利用経験があった(図 13a)。過去 6 か月のゲイバーの利用経験は 66-80%であり 25-29 歳の群では 80%であり最も高かった。有料ハッテン場の過去 6 か月の利用経験は、いずれの年齢層でも 4 割を超しており、30-34 歳の群では 5 割を超していた(図 13b)。

HIV 抗体検査の受検行動は、検査の意図、生涯の受検経験、過去 1 年間の受検経験すべてにおいて 2013 年は 2012 年より上昇が見られていた(図 14)。過去 6 か月のコンドームの常用率は 41.9%であった(図 15)。



6) 沖縄地域の横断調査の結果

ゲイバー利用は、生涯の利用経験はいずれの年代層でも高く 30 歳以上の群すべてにおいて 90%以上の利用経験があった(図 16a)。過去 6 か月のゲイバーの利用経験は 67-87%であり他地域よりも高かった。有料ハッテン場の過去 6 か月の利用経験は、33-62%であり、30-34 歳の群では 62%であった(図 16b)。

HIV 抗体検査の受検行動は、検査の意図、生涯の受検経験、過去 1 年間の受検経験すべてにおいて 2013 年は 2012 年より若干減少が見られた(図 17)。しかし、2012 年時点でも生涯の受検経験は 64.5%であり、2013 年には 63.7%と若干下がったものの他の地方都市よりも高い状況は維持している。過去 1 年間の受検経験は 29.9%と昨年より低下が見られた。過去 6 か月のコンドームの常用率は 47.3%と昨年の 44.9%より上昇していた(図 18)。

図16 年齢別商業施設の利用について：
沖縄地域

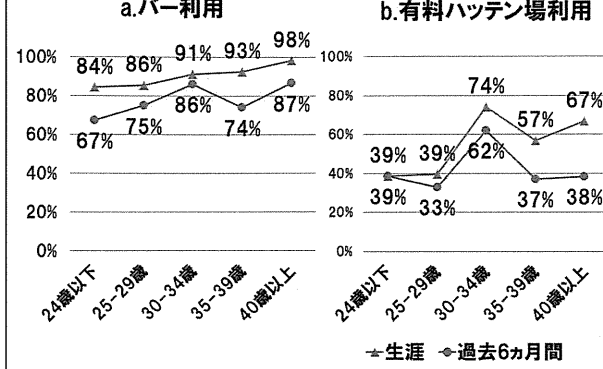


図17 沖縄 HIV抗体検査受検

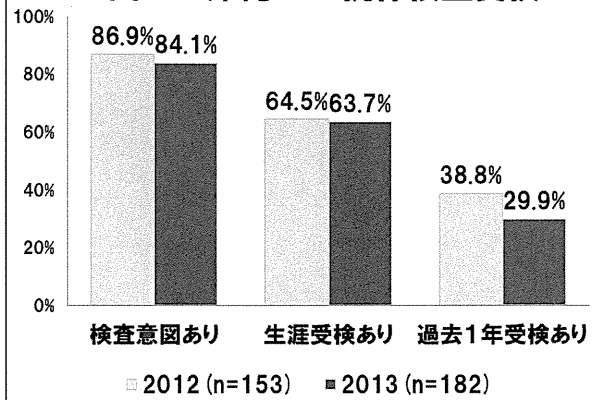
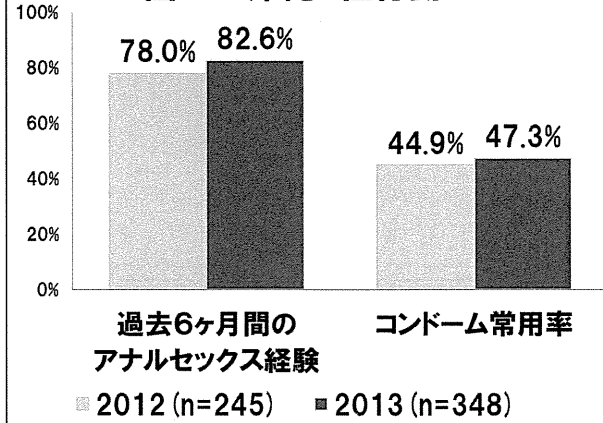


図18 沖縄 性行動



2. 追跡パネル調査の結果

1) 調査結果の概要

2013年度の調査結果の概要を表1、表2に示した。追跡パネル調査継続参加者の割合は59.6%(2012年度)、53.8%(2013年度)でありほぼ同程度であった。地域別に2012年度は45.6%(東海)~73.3%(関東)、2013年度は46.4%(中四国)~58.5%(関東)であった。

追跡パネル調査の全てに回答した人は2012年度650人(追跡パネル調査継続参加者における36.1%)、2013年度494人(追跡パネル調査継続参加者における25.8%)であった。地域別に2012年度は14.5%(沖縄)~48.3%(関東)、2013年度は17.9%(沖縄)~35.5%(関東)であった。

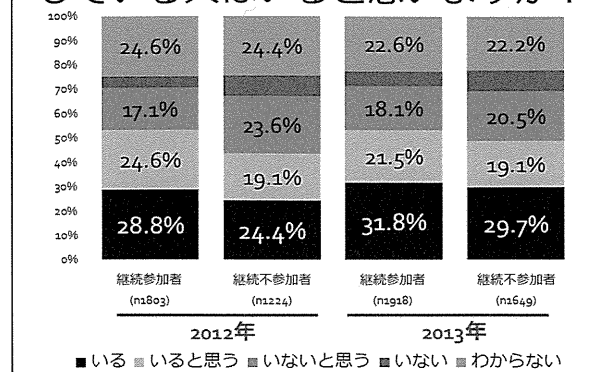
2) 追跡パネル調査継続参加者の特性

属性について両年度ともに有意差のみられたのは健康保険所持状況であり、被扶養者の保険の所持割合と持っていない割合が継続不参加者に比べ継続参加者でやや高かった(表3-1)。

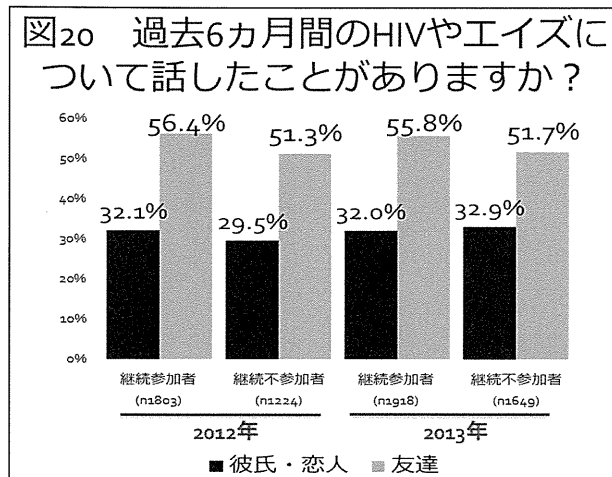
過去6ヶ月間のゲイ向け商業施設などの利用割合(2012年度)は、インターネット関連のベニューを利用する人の割合が継続不参加者に比べ継続参加者で高かった(表3-2)。生涯のゲイ向け商業施設などの利用割合(2013年度)は、ゲイバーを除く全てのベニューで利用割合が継続不参加者に比べ継続参加者で高かった。

HIVやエイズに関する意識として周囲のHIV感染者への意識と対話経験の有無について尋ねた(表3-3)。両年度ともに周囲にHIVに感染している人について「いる、いると思う」と回答している人の割合が継続不参加者に比べ継続参加者で高かった(図19)。

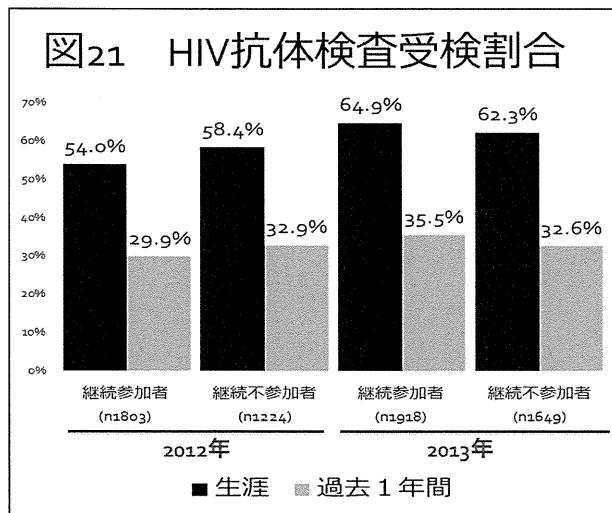
図19 友達や知り合いにHIVに感染している人はいると思いますか？



また過去6ヶ月間の友達とのHIVやエイズについての対話経験のある人の割合も同様に継続不参加者に比べ継続参加者でやや高かった(図20)。

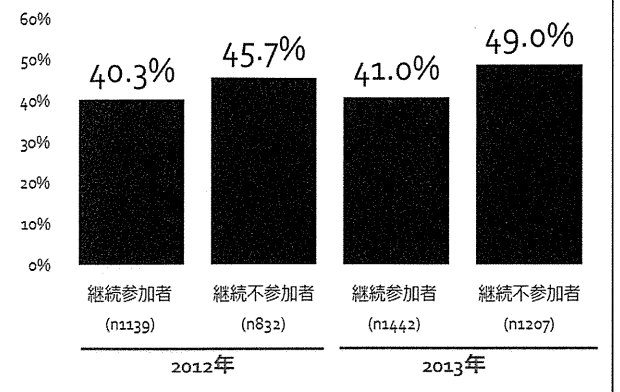


HIV抗体検査の受検行動では、2012年の回答者における生涯受検割合が継続参加者54.0%、継続不参加者58.4%と、継続参加者でやや低い(p=0.02)ほか有意差はみられなかった(図27、表3-5)。



過去6ヶ月間のアナルセックス時のコンドーム常用割合は、両年度ともに継続不参加者に比べ継続参加者でやや低かった(図28、表3-6)。

図22 過去6ヶ月間のアナルセックスにおけるコンドーム常用割合

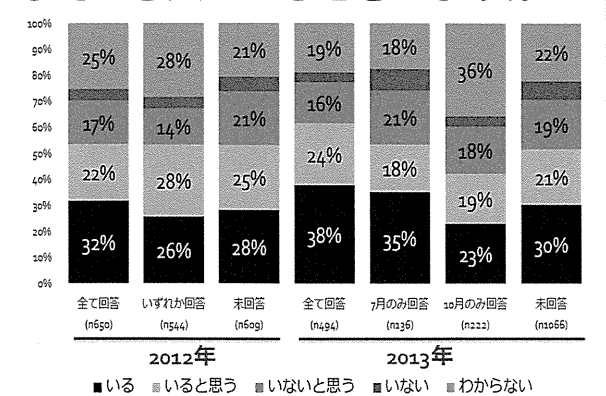


3) 参加意思あり群における回答者の特性

属性について両年度ともに有意差のみられたのは健康保険所持状況であり、被扶養者の保険の所持割合と持っていない割合が未回答者に比べ回答者でやや高かった(表4-1)。

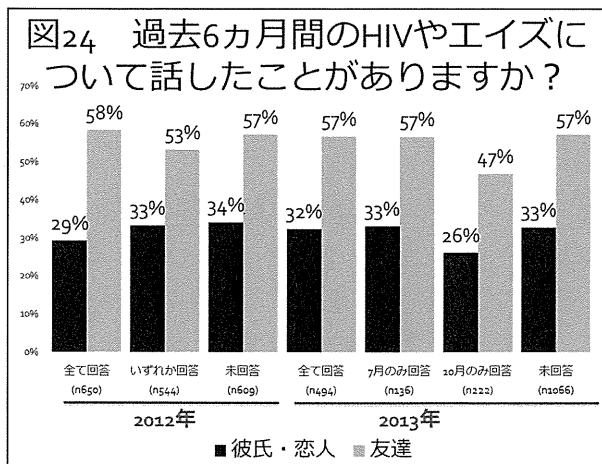
HIVやエイズに関する意識として周囲のHIV感染者への意識と対話経験の有無について尋ねた(表4-2)。2012年度は周囲にHIVに感染している人について「わからない」と回答している人の割合が未回答者(20.5%)に比べいずれか回答者(28.3%)、全て回答者(25.4%)で高かった(p<0.01、図23)。2013年度は周囲にHIVに感染している人について「いる」と回答している人の割合が未回答者30.4%全て回答者37.9%に比べ、10月のみ回答者で23.0%と低かった(p<0.01、図23)。

図23 友達や知り合いにHIVに感染している人はいらっしゃいますか？

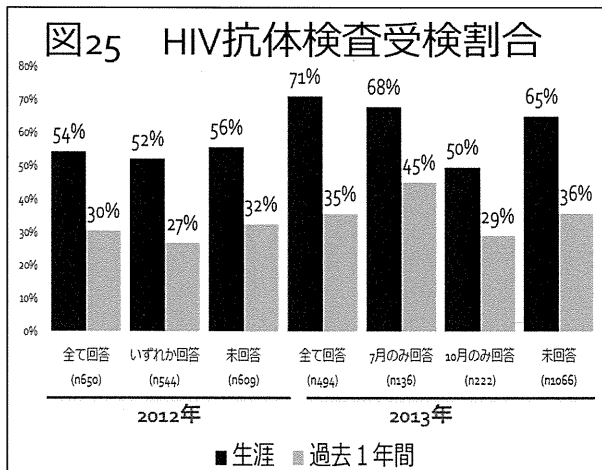


また過去6ヶ月間の彼氏や恋人とのHIVやエイズについての対話経験のある人の割合は、

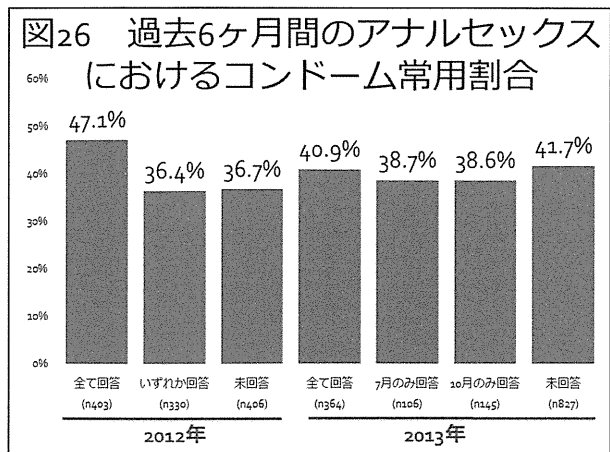
2012 年度は全て回答者で 29.3%と他に比べ最も低く、2013 年度は 10 月のみ回答者で 26.1%と最も低かった (図 24)。過去 6 ヶ月間の友達との HIV やエイズについての対話経験のある人の割合は、2012 年度では有意差はみられず、2013 年度は 10 月のみ回答者で 46.8%と最も低かった。



HIV 抗体検査の受検行動では、2012 年の回答者における生涯受検割合、過去 1 年間の受検割合では有意差はみられず、2013 年度は 10 月のみ回答者で最も低く、生涯 49.5%、過去 1 年間 28.8%であった (図 25)。



過去 6 ヶ月間のアナルセックス時のコンドーム常用割合は、2013 年度は有意差はみられず、2012 年度では全て回答者で最も高く 47.1%であった (図 26、表 4-5)。



4) 介入プログラムの効果評価の検討

本報告では、コミュニティセンターは東北・関東・東海・近畿・九州・沖縄地域の居住者で、コミュニティペーパーは北海道を除く全地域で、コンドーム配布は東北・関東・東海、中四国・九州・沖縄地域の居住者で分析した (表 5)。

コミュニティセンターの新規接触率は 2.5%、再接触率は 61.4%、コミュニティペーパーの新規接触率は 5.5%、再接触率は 65.1%、コンドーム配布の新規接触率は 12.7%、再接触率は 59.2%であった。

過去 3 ヶ月間の HIV 抗体検査受検割合は Base Line 時 (17.1%) に比べ 3 ヶ月後のフォローアップ時 (12.7%) には全体的に低下していた (McNemar 検定による $p < 0.05$)。

過去 1 ヶ月間のその場限りの相手とのコンドーム非常用割合については全体では著変なく、コミュニティセンター認知による分類 2) Base Line 時に認知のあった人で 3 ヶ月後には認知がなかった人の群で Base Line 時 (27.6%) に比べ 3 ヶ月後のフォローアップ時 (15.8%) に低下傾向であった (McNemar 検定による $p < 0.1$)。また同群では

過去 3 ヶ月間のコンドームを常に所持していた割合についても全体では著変なく、コミュニティペーパー認知による分類 2) Base Line 時に認知のあった人で 3 ヶ月後には認知がなかった人の群で Base Line 時 (29.4%) に

比べ3ヶ月後のフォローアップ時(36.1%)に低下傾向であった(McNemar 検定による $p < 0.1$)。

D. 考察

GCQ アンケート横断調査を2012年度に引き続き2013年度にも実施した。東北、近畿、中四国、九州、沖縄地域は昨年度より多い有効回答を得ることができた。

東北地域では、過去1年の検査受検やコンドーム常用率について、昨年度より低下がみられた。関東地域と東海地域では、検査行動は昨年より生涯受検経験、過去1年の受検経験ともに上昇しており、過去6か月のコンドーム常用率も上がっていた。ただし関東地域の結果については、今年度の調査は関東地域以外で開催されたイベント経由で参加したものが多く国内移動を多く行っているものの回答が多いこと、東海地域は検査会を同日に提供していたNLGRのイベント会場にて対象者を集めており、検査経験が高い層が答えた可能性があることに注意が必要である。近畿、九州地域は、検査行動に変化はなくコンドーム常用率は若干上昇していた。沖縄地域は過去1年間の受検経験が地方都市としては高い受検割合ではあるものの低下していた。

ゲイバー、有料ハッテン場の生涯、過去6か月の利用経験を年齢別に分析した。いずれの地域においてもゲイバーについては35歳になると9割以上の者が生涯でのバー利用経験があり、7割以上に過去6か月での利用経験があることが示された。有料ハッテン場も35-39歳以上の層では東海、近畿、九州では7割以上の生涯利用経験があり、対象者全体では平均58.9%の生涯での利用経験があった。

パネル調査については、各地域が焦点を絞った検査行動、予防行動促進のための介入を行い、その介入の前後で調査を実施し、コミュニティでの変化をとらえることを目指した。効果評価を確実にするためには、各地域で

の対象者数の確保が重要となることが示された。

E. 結語

本年度は昨年度に引き続きインターネット横断調査および追跡パネル調査計2回を全域で実施した。

横断調査に引き続きパネル調査を実施することで、同一対象者の複数時点間の行動の変化をとらえること、ゲイ向け商業施設の利用頻度、新規利用者、予防啓発への新規接触と行動変容の因果関係を検証できる可能性を示した。しかし各地域での介入効果評価につなげるためには、各地域で展開する介入プログラムのターゲット層や効果評価指標を明確にし、より多くの対象者人数を確保する必要性が示された。

F. 発表論文等

(○印は当研究班に関連した発表論文等)

1. ○塩野徳史, 金子典代, 市川誠一, 山本政弘, 健山正男, 内海眞, 木村哲, 生島嗣, 鬼塚哲郎: MSM (Men who have sex with men) における HIV 抗体検査受検行動と受検意図の促進要因に関する研究, 日本公衆衛生雑誌, 60(10), 639-650, 2013
2. 堀希好, 金子典代, 市川誠一: 養護教諭が生徒から受ける同性への性的指向の相談の実態と対応に関する研究, 思春期学, 31(1), 167-174, 2013

(学会発表)

1. D. Dorjgotov, S. Oka, S. Ichikawa, E. Gombo, D. Jagdagsuren, S. Shiono, N. Galsanjamts: Effect of the activities of non-governmental organizations (NGOs) on men who have sex with men (MSM) in Mongolia, the 11th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, Bangkok, Thailand, 2013
2. N. Galsanjamts, M. Dorjgotov, E. Gombo, D. Jagdagsuren, S. Shiono, N. Kaneko, S.